



開校明治七年
開校146年目

宗岡小だより

学校教育目標

自分がすき・友だちがすき・町がすきな宗小の子

育てる子供像 地域を愛し、誇りをもって、地域に貢献する子供

めざす学校像

「安全・安心できれいな学校」
「子供達一人一人の居場所があり、輝ける学校」

令和2年7月号

志木市立宗岡小学校
児童数 456名・学級数 18学級
住所 志木市中宗岡3-1-1
TEL 048-471-0307

7月の生活目標

学校の決まりを
ふりかえよう
・一学期のまとめ
をしよう
・宗小のきまりの
反省をしよう

七夕について

校長 石田 賢一

子供達の元気な姿が学校に戻ってきて1か月が過ぎました。

最初は、久々の学校生活に戸惑いの様子を見せていた子供達も1か月が過ぎ、新しい学級にも慣れ、勉強に遊びに全力で取り組んでいます。

毎朝の登校では、校門で出迎える私に多くの子供たちが「おはようございます」と元気いっぱいあいさつをしてくれます。マスクをしてはいますが、すべての子供たちが笑顔であいさつしてくれているのが分かります。新型コロナウイルスの影響もあり、マスクをつける生活はしばらく続くと思いますが、子供たちが楽しく過ごせるとともに、笑顔が絶えない宗岡小学校をつくっていきたいと思います。

また、6月に開催された1年生対象の交通安全教室では、子供達が自分の命を守るための方法として安全な横断歩道の渡り方について体験を通して学んでいました。当日の下校時、正門前の横断歩道を渡る1年生全員がしっかりと「右・左・右」を見て、周囲の安全を確認しながら渡ることができていました。見守っていた私が「気を付けて帰ってね。」と声をかけたところ、「校長先生も気を付けてね。」と言ってくれる子供が何人もいました。学んだことをすぐに実践できる素直な子供や周りの人を思いやることのできる優しい子供が宗岡小学校にはたくさんいます。こういった子供達をもっともっと増やしていきたいと思います。



交通安全教室（6月19日）

さて、7月の伝統行事といえば七夕です。21世紀こども百科（小学館）によると「七夕は、昔、中国から日本に伝わった星祭りです。ひこ星と、織りひめという男女の星が、天の川をはさんで向かい合っていて、この2つの星が、1年に1度、7月7日にだけ会えるという言い伝えから、祭りが始まりました。」とあります。

日本では、今から約1,300年前の奈良時代から宮中を中心に行われており、約400年前の江戸時代からは一般の人たちも行うようになったそうです。江戸時代の人々は、庭前に供物をし、葉竹を立て、五色の短冊に歌や字を書いて飾りつけて、書道や裁縫の上達を祈っていました。現在は、短冊に願い事を書くという風習が定着しています。

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、子供達は例年とは違う願い事がたくさんあるのではないのでしょうか。今まで当たり前にしてきたことが、今年は感染症拡大防止のための自粛があり、子供達はたくさんのことを我慢しながら生活してきました。子供達に「今やってみたいことを願い事として書いてごらん。」と言うと用意した短冊が足りなくなるぐらい、たくさんの願い事を書くことのできるのではないのでしょうか。



1日でも早く新型コロナウイルスが終息し、子供達が本当に自分のかなえたい夢だけを願い事として書くことができる七夕が戻ってくることを心から祈っています。